



国道8号小松バイパス

3/8(金) 佐々木IC～八幡ICの4車線区間を延伸

- 金沢河川国道事務所では、交通渋滞の緩和を目的として、国道8号能美市大長野町～加賀市箱宮町において、小松バイパス事業(4車線化)を進めています。
- この度、小松市佐々木IC～同市八幡IC(延長1.4km)において、4車線区間を延伸することとなりましたのでお知らせします。

日時: 令和6年3月8日(金) 正午頃～

※4車線区間延伸の詳細は、別紙を参照願います。

※現地の規制看板や交通誘導員の指示に従って安全な通行をお願いします。

※気象条件等により、日時が変更となる場合があります。



お問い合わせ先

国土交通省 北陸地方整備局 金沢河川国道事務所 計画課長

みずの りきと
水野 カ斗

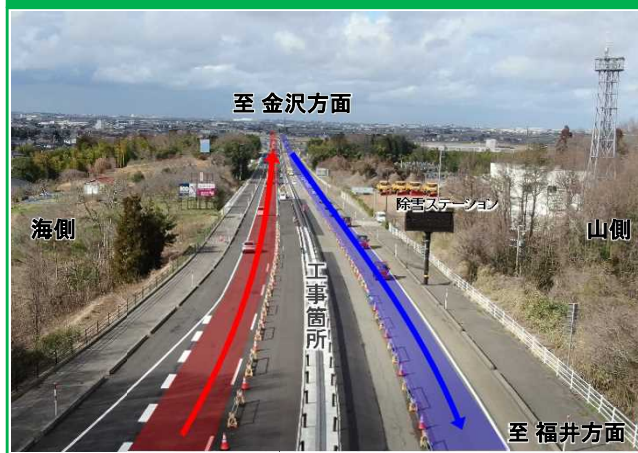
住所: 金沢市西念4丁目23番5号

電話: 076-264-9912(計画課直通)

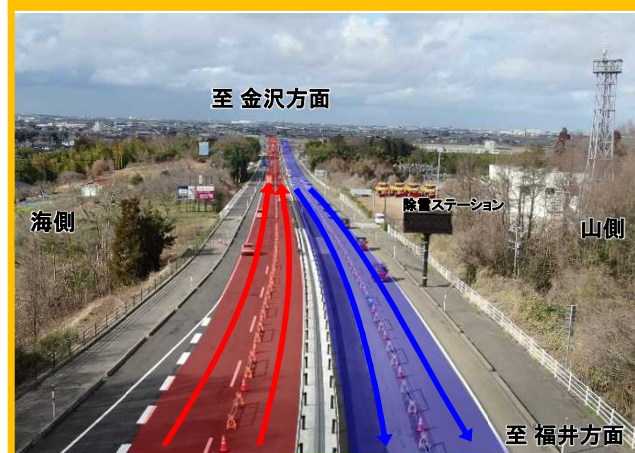
FAX: 076-233-9631

4車線化のイメージ

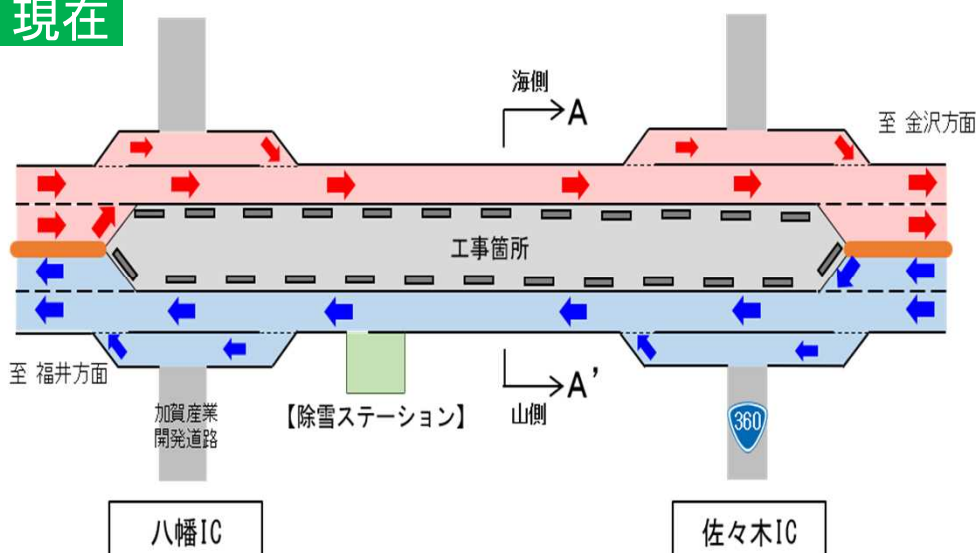
現在



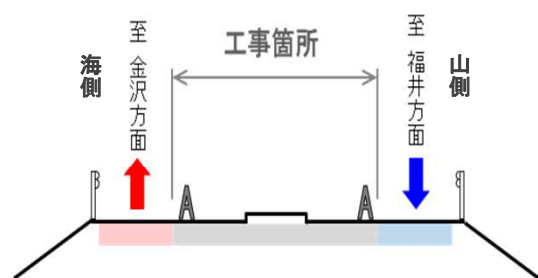
4車線化後(イメージ)



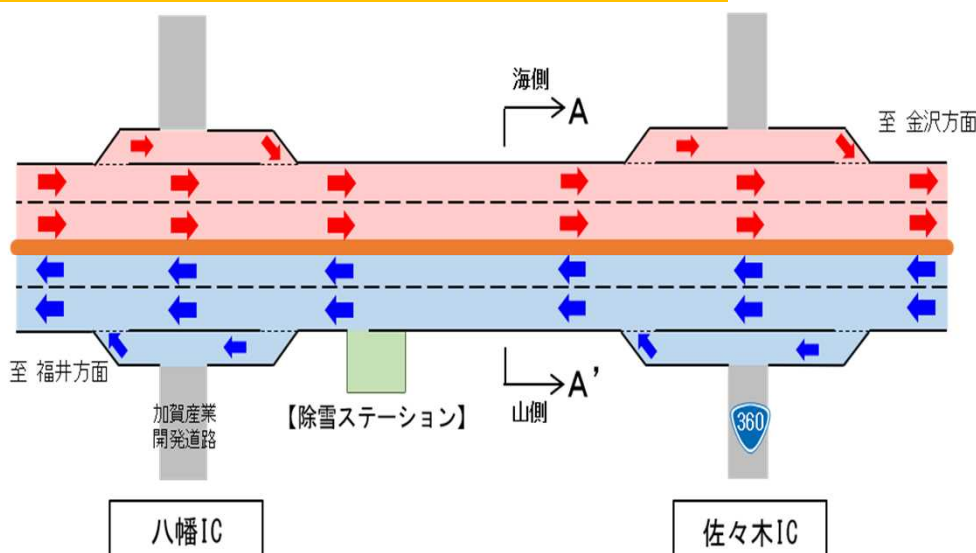
現在



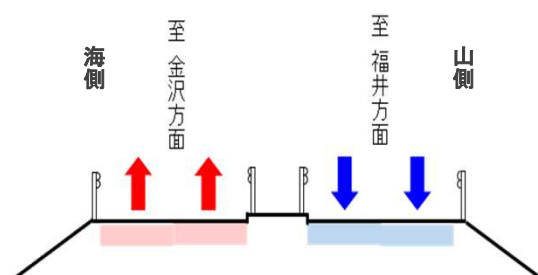
【A-A' 断面】



4車線化後(R6.3.8(金) 正午頃～)

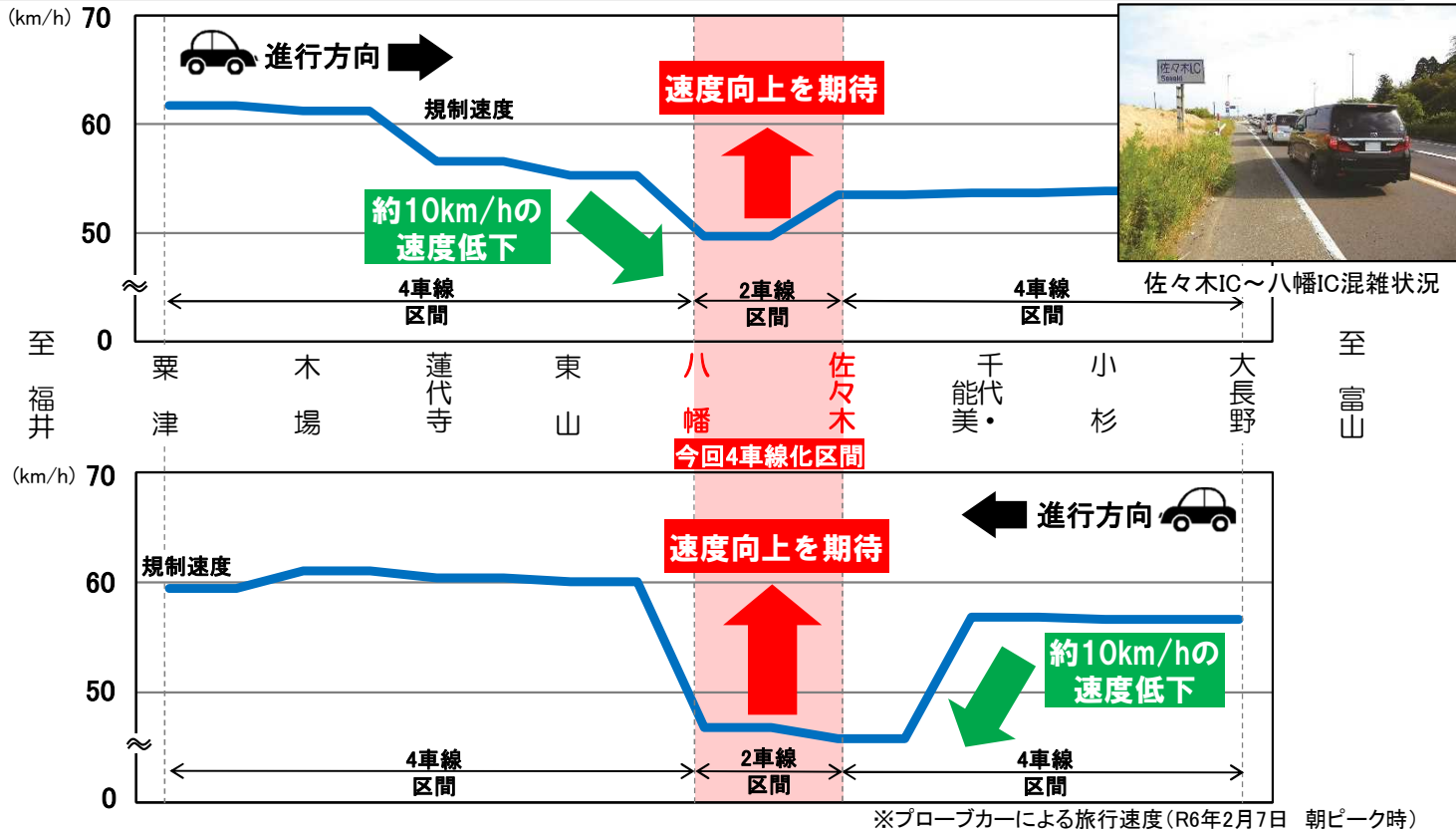


【A-A' 断面】



整備効果① ボトルネックによる速度低下の改善

- 上下線ともに佐々木IC～八幡ICとその前後区間において速度が低下しており、当該区間において交通混雑が発生しています。
- 4車線化により車の流れがスムーズになり、これらの改善が期待されます。



整備効果② 事故発生リスクが低減

- 近年4車線化整備が進んでいる大長野IC～佐々木ICでは、死傷事故件数が減少しており、当該区間においても4車線化により安全性が向上することで、事故発生リスクの低減が期待されます。
- また、過去4年間に小松バイパスで発生した死亡事故(2件)は正面衝突によるもので、どちらも暫定2車線区間で発生しており、4車線化により正面衝突による死亡事故の発生を回避できます。

